

第1回意見交換会でのご意見に関するアンケート結果（抜粋）

Q) 簡易量水標の今後の設置に関して、改良イメージなどがあればご提案ください。

【回答】

- ・視認性を向上させるために幅を広く、近似色の見直しを検討。
- ・既存の量水標と案内看板に色あせがある場合等、必要に応じて再塗装または交換。
- ・設置後は周辺の草木で確認できない場合もあるので定期的に確認と対応。
- ・夜間で視認が困難なため、夜間でも確認できるような塗料の工夫。

Q) 情報伝達手段の充実、情報取得手段の周知に関し、今後より行政・住民が有効に利用するための改善の案・要望はありますか。

【回答】

- ・水位計測と連動して回転灯等（赤・橙・黄色等）で視覚的に伝える。
- ・量水標設置位置、内容の広報の充実、情報を有効に活用する継続的な取り組み。
- ・台風や梅雨時期に入る前に、行政として避難判断基準をHP等の媒体を通じて広く周知。

Q) 今後より優先すべき事項や、緊急的に取り組みたい事項は何ですか。

【回答】

- ・圏域内主要4河川（芹川、犬上川、宇曾川、愛知川）の水位予測。
- ・芹川の上芹橋付近に検討されている河川監視カメラの設置、その他河川にも早期設置。
- ・県市町で共通した避難判断基準の検討。

Q) 避難勧告等発令判断にあたり、判断根拠として使いたい情報は何かですか。

【回答】

- ・河川水位、水位予測、観測雨量、雨量予測（河川上流部含む）。
- ・永源寺ダム放流情報と愛知川水位と到達時間の関係。
- ・現場パトロール情報。
- ・土砂災害警戒情報。
- ・浸水シミュレーション（浸水想定区域図、地先のハザードマップ）。

Q) 今後の取り組みに関する意見・要望があればご記入ください。

【回答】

- ・河川整備の促進、情報共有（前年度実績と当該年度計画）。
- ・永源寺ダム放流開始からの水位の変化についてのより詳細なデータがほしい。
- ・愛知川御幸橋量水標での水位情報の見直し。
- ・避難勧告発令判断基準の見直し。